

「荒垣秀雄顕彰作文コンクール」作品募集要項

【趣旨・目的】

岐阜県飛騨市（旧神岡町）出身の故 荒垣秀雄氏は、昭和21年から足掛け18年の長きにわたり朝日新聞の一面コラム「天声人語」を執筆され、テレビの時事番組への出演や多数の著書の出版を通じて世論に大きな影響を与えました。その功績に対し菊池寛賞を受賞されています。また、日本の経済成長期にいち早く環境破壊への警鐘を鳴らし、自然保護活動に尽力されました。

飛騨市の旧 神岡町の名誉町民として今も地域の人々の心に引き継がれている荒垣氏ですが、このたびその生家である荒垣明治堂の跡地に顕彰石碑が建てられることとなり、改めて氏の功績に光をあて、「天声人語」にちなんだイベントとして作文コンクールを開催します。

かつて荒垣氏が担当していた頃の「天声人語」と同じ800文字で、自分の考えを文章で表現することを通じ、豊かな想像力や感性、自分のふるさとを思う気持ちを育むと共に、荒垣氏の偉大な功績と氏が飛騨市出身であることを次世代の担い手である青少年に広く周知し、飛騨の豊かな自然が育んだ偉大な先達を末永く顕彰し続けていくことを目的とし開催いたします。

【募集内容】

○テーマ「ふるさと」

【応募規定】

- ① 小学生（5～6年生のみ）、中・高校生、一般の部の3部門
- ② 字数は当時の「天声人語」にならい800字とします。（400字詰めの縦書き原稿用紙2枚）

○応募規定等

1. 応募票（別ページ）の各項目を記入の上、400字詰めの縦書き原稿用紙（2枚）の作品に添えて郵送してください。（文頭は原稿用紙の1行目からとしてください。原稿用紙へのテーマ「ふるさと」および氏名の記載は不要です。）
2. 応募された作品は一切返却しません。

○応募資格

- ・一般の部は不問。
- ・小学生の部（5～6年生のみ）ならびに中・高校生の部も不問ですが、賞の対象に飛騨地区内の児童・生徒枠を設けます。

○募集期間

平成30年7月21日～平成30年8月31日（当日の消印有効）

○賞

*荒垣秀雄 天声人語賞

①小学生の部（5～6年生のみ）：1点（図書券3万円）

②中学生の部：1点（図書券3万円）

③高校生の部：1点（図書券3万円）

*小学生の部：特選1点（図書券1万円）、入選4点（図書券5千円）

*中・高校生の部：特選1点（図書券3万円）、入選4点（図書券1万円）

*一般の部：特選1点（賞金3万円）

*朝日新聞社賞：1点（賞状及び記念品）

*飛驒市長賞（飛驒地区内の児童・生徒の応募者が対象）1点（賞状及び記念品）

○審査・発表

- 審査員
- ・鍋島 寿（岐阜県図書館長）
 - ・林 正子（岐阜大学副学長）
 - ・朝日新聞社
 - ・都竹 淳也（飛驒市長）
 - ・山本 正明（当実行委員長）
 - ・荒垣さやこ（荒垣秀雄 天声人語賞審査員）

審査の結果、平成30年11月頃に飛驒市ホームページ及び報道機関等を通じて氏名等を発表（応募者全員に結果を通知します）

○表彰式 平成30年11月頃に飛驒市内に於いて開催予定

○応募先・問い合わせ先

飛驒市教育委員会事務局 文化振興課
〒509-4292 岐阜県飛驒市古川町本町2-22
TEL:0577-73-7496

【主催】荒垣秀雄氏生誕地顕彰実行委員会

【共催】朝日新聞社、飛驒市、飛驒市教育委員会

第1回荒垣秀雄顕彰作文コンクール 応募票

わたしは今回の応募にあたり、下記のことを誓約し提出します。

- ・応募作品を他の作文コンクール等に応募していません。
- ・作品は自分が考えて書いたもので、他の人の作品から引用したり複製していません。
- ・わたしの作品の利用について、新聞やホームページなどに載せることを許可します。

応募部門	①小学生の部(5~6年) ②中高生の部 ③一般の部 (該当部門に○印)	
応募者の氏名	(ふりがな) -----	
年齢・職業・性別	_____歳	男 ・ 女
※ 保護者氏名		
応募者の住所	〒 _____	
	----- 電話 ())	
※ 学校名		
※ 学校所在地	〒 _____	
	----- 電話 ())	
※ 学年	_____ 学年	
応募のきっかけについて (新聞、チラシ、ホームページを見て等々)		

※部分の記入は未成年者のみ